



ナス編

病害虫注意報 2024年7月号



※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。

育苗期・定植時の防除特集

アブラムシ類、アザミウマ類、コナジラミ類、ハダニ類の発生に注意！

また、育苗期の防除を徹底し、病害虫を本圃に持ち込まないようにしましょう！

育苗期・定植時 おすすめ粒剤・灌注剤

対象病害虫によって希釈倍数が異なる場合があります。ラベルの確認をしてから使用してください。

	IRAC	対象害虫	薬剤名	使用量/希釈倍数	使用時期	使用回数	影響日数	
							ミツバチ	マルハナ
粒剤	4A	コナジラミ類・アブラムシ類 ミナミキロアザミウマ	ベストガード粒剤	1~2g/株 (コナジラミ類・アブラムシ類は 育苗期1g)	育苗期及び 定植時 (ミナミキロアザミウマ は定植時のみ)	育苗期及び 定植時 合わせて1回	45日 ↑	21日 ↑
	4A	コナジラミ類・アブラムシ類 ハダニ類	アルバリン粒剤	1~2g/株 (アブラムシ類は1g/株、 ハダニ類は育苗期2g/株)	育苗期及び 定植時	育苗期及び 定植時 合わせて1回	21~ 40日	10日 (クロ 22日)
灌注	23	コナジラミ類・アブラムシ類 アザミウマ類・ハダニ類 等	モベントフロアブル	500倍(25~50ml/株) (アザミウマ類・ハダニ類・ チャノホリダニは50ml/株)	育苗期後半 ~定植当日	1回	1日	45日
	28	コナジラミ類・アブラムシ類 アザミウマ類・ハダニ類 ネムシ類	ベリマークSC ※ミネクトデュオ粒剤と併用不可	薬量：25ml/400株 水量：10~20L/400株 (25~50ml/株)	育苗期後半 ~定植当日	1回	1日	1日

病害虫多発時おすすめ薬剤

対象病害虫によって希釈倍数が異なる場合があります。ラベルの確認をしてから使用してください。

IRAC FRAC	対象病害虫	薬剤名	希釈倍数	使用時期	回数	影響日数	
						ミツバチ	マルハナ
1	褐紋病・菌核病 フザリウム立枯病 灰色かび病 等	ベンレート水和剤	2,000~3,000倍 (褐紋病・菌核病・フザリウム立枯 病は2,000倍)	前日	3回	1日	1日
19	うどんこ病・灰色かび病 すすかび病 等	ポリオキシシンAL水溶剤	5,000倍	前日	3回	0日	0日
15	アザミウマ類・オオハコガ ハダニ類・コナジラミ類	カウンター乳剤	2,000~3,000倍 (アザミウマ類は2,000倍)	前日	4回	1日	1日
5	アザミウマ類・オオハコガ	スピノエース顆粒水和剤	2,500~5,000倍 (オオハコガは5,000倍)	前日	2回	3日	3~7日
28	アブラムシ類・コナジラミ類 ハダニ類 オオハコガ 等	兼商ヨーバルフロアブル	2,500~5,000倍 (コナジラミ類、アザミウマ類は 2,500倍)	前日	3回	14日	14日 (クロ)

ピュア酸素



- ☆ 土壌に酸素を供給し、根の活動を活発に!
- ☆ 肥料・葉面散布剤の吸収を良くします!

10kg/10a、または100倍
灌注処理

透水プロリキッド



- ☆ 表面張力を弱めることで土壌に水分を浸透させます!
- ☆ 土の団結化と撥水防止!

500ml (1本) /10a
または2,000倍 灌注処理

混用することで
酸素剤を土壌下層部へ
素早く均一に供給!

お勧めの圃場

- ① 有機培地栽培圃場
- ② 珪藻類発生圃場
- ③ 乾燥土壌